

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和5年12月6日

事業所名 児童デイサービス事業所「ひかり」 保護者等数(児童数)15 回収数 13 割合 86.7%

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	1	2	1	*無回答1	室内で全員が過ごすに窮屈になる場面はあるが、室内外と室内で別々の活動が出来ている。雨天時のDVD鑑賞時も三密を避けたり、それぞれの興味関心に応じて別室で2本立ての上映をしている。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	7	2		4	・専門性はわからない	制度上の人員配置に加えて非常勤のパートも1名配置しています。また、児童発達支援管理責任者も送迎・活動対応に加わっているため余裕のある職員配置になっています。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7			6		最低限のバリアフリーはできていますが、身体障がいのある児童受け入れは現状有りません。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	11			2		計画書類については半期毎に作成させて頂いていますが、事務手続き上の都合により各家庭に提示・説明する時期が遅れてしまう事があり改善に努めます。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11	1		1		新たな活動場所やドライブコースの新規開拓に加えて、デイ内で音楽をかけてダンスをするなど活動内容に飽きてしまわないよう配慮しています。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1		4	7	*無回答1	例年は地域の学校児童との園芸活動などを取り入れていましたがコロナ禍にあり見合わせ中です。
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	1	1			コロナ対策の一環として以前のような面談場面の設定を控えているため、個別の要望や問い合わせ等があれば都度お知らせ頂けると助かります。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	1				連絡ノート、送迎時のやり取りだけでは不足する部分があると思うので個別に問い合わせをして頂けると助かります。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	1	1	1		要望に応じてや、事業所側が必要だと判断した場合に各種助言や提言をさせてもらっていますので宜しくお願いします。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	3	4	3	*無回答1	事業活動が放課後のみの対応であることから、保護者会の組織はしていません。例年は親子参加型の行事を開催していますが、コロナ禍にあり見合わせています。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		5		法人の苦情解決事業実施要綱や第三者委員での対応が可能です。苦情に至らなくても日常的な意見・要望への対応をしている。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13					
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	5	3	1	4		広報誌の発行については最近頻度が少なくなりましたが行事内容を中心に掲載しています。事業所の自己評価に関してはホームページへの掲示の他に各家庭にも配布させて頂きます。
非常時等の対応	14	個人情報に十分注意しているか	9	2		2		細心の注意を払っていますが、連絡ノートや配布物の入れ間違いが数件あり以降は連絡袋の導入をさせてもらっています。
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7		1	5		整備済みではありますが、改定が必要な箇所が無いかの点検を行い再度周知させて頂く予定です。
満足度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4		1	7	*無回答1	デイ事業所単独での訓練はしていませんが、隣接する方針施設での合同訓練を年2回実施しています。多くの利用児が参加できるように長期休暇中に実施できるよう配慮しています。
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	10	3			・楽しみにしています。 ・いつも楽しみにしています。	
	18	事業所の支援に満足しているか	12	1			・近頃は活動も工夫してる様で楽しいみたいです。 ・丁寧な説明をして頂けるのでいいと思います。	

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年12月6日

事業所名

児童デイサービス事業所「ひかり」

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		室内で全員が過ごす窮屈になる場面はあるが、室内外と室内で別々の活動が来ている。雨天時のDVD鑑賞時も三密を避けたり、それぞれの興味関心に応じて別室で2本立ての上映をしている。	パニック時など情緒不安定な行動への対応時に他児童への影響がでてしまうという課題がある。年少者と年長者、相性の良し悪しなども考慮して利用調整日を決めるなどすれば、子どもたちの過ごしやすさやスタッフとしても対応しやすくなるかもしれない。
	2	職員の配置数は適切である	4		制度上の人員配置に加えて非常勤のパートも1名配置しています。また、児童発達支援管理責任者も送迎・活動対応に加わっているので余裕のある職員配置になっています。	年少者と年長者、相性の良し悪しなども考慮して利用調整日を決めるなどすれば、子どもたちの過ごしやすさやスタッフとしても対応しやすくなるかもしれない。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4		ハード面は最低限整えられており問題ない。	重度心身障がいの方の受け入れについては人員、他の利用児対応への影響もあって受け入れ困難である。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		ミーティング以外にも日々の情報共有の中で業務改善につなげています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		アンケートは年1回ですが、連絡帳や電話・送迎時などで示された意向や要望を業務に活かしている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		ホームページ上で公開している以外にも、各家庭に1部ずつ自己評価結果を配布している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4		現時点では自己評価のみ実施しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		ミーティング以外でも利用児の行動傾向を分析したり支援策について日々協議しています。	コロナ感染症などの対応として集合研修は避けていましたが、今年度から研修を再開予定です。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4		日頃から利用児の様子や行動変容について状況把握・分析・試行錯誤をしている。	コロナ感染症などの対応として個別懇談形式を避けていましたが、社会情勢に応じて対応方法を再検討していく予定です。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		専用のソフトを活用し、年間を通じてアセスメントしている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		ミーティングなどを活用して活動内容について協議している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		平日営業、休日営業共に活動場所の新規開拓やドライブコースの配慮などを行っています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4		心身ともに達成感を感じられるよう運動機会を設けている。休日に関しては余暇活動の要素を取り入れて平日には行けない場所まで出掛けている。	土曜営業日の希望者が増えており、月によっては利用調整日を設定する必要があります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4		利用児によってスキルアップや運動量確保など個別に課題意識をもって対応している。	利用児童の多い曜日夜、各校の下校時間に差がある日など十分な個別対応が出来ない場面もある。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		朝礼などの会議形式ではないものの、簡易な打ち合わせをしたり、今年度からは利用児数や送迎係・活動内容をプリント化して役割分担を明確にしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		記録入力時やミーティング時などには振り返りと対策案などについて協議している。	スタッフの勤務時間の違いから当日中に振り返りが出来ない場合でも、翌日の利用児童受け入れまでには情報共有が出来るようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		記録は事実ベースで簡潔にしておき、ミーティングにて考察を加えたり、モニタリング資料としても活用している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		半年毎にモニタリングを実施している。	コロナ感染症などの対応として個別懇談形式を避けていましたが、社会情勢に応じて対応方法を再検討していく予定です。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		児童発達支援管理責任者が対応している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		保護者了承の上で学校のノートも確認させて頂いていたり、可能な限り学校へのお迎え時に教員とも情報連携している。	利用調整をして隔日利用になっている利用児に関しては連携ミスになりやすく、学校からプリント類の配布・適時連絡を受けたり、マチコミメールに登録するなどの取り組みを開始した。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			対象者なし。	受け入れ要請があっても、人員、他の利用児対応への影響もあって受け入れ困難である。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4		必要に応じて関係機関への問い合わせや園への見学、実地指導の要請を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4		引継ぎ会として卒業する年度末には計画相談支援事業所のサービス担当者会議に出席している。法人内の事業所を利用する場合は現地に向いて支援ノウハウを教授することが出来ている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		近年事例数は少なくなっているが、必要に応じて関係機関への問い合わせや実地指導の要請を行っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4	一般の方との交流については、公園遊びの際に遊具使用の順番順守や迷惑行動の無いような指導機会にしたり、挨拶運動をしている。	例年、地元小学生との園芸活動に取り組むがコロナ禍にあり見合わせ中。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4		児童発達支援管理責任者が参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		連絡帳や電話、送迎時などで共通理解ができるよう対応している。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4		少数であるが家庭生活・学校生活についての相談を受け付けて必要な支援をしている。	放課後の2～3時間での対応で取り組み可能なことは少なく、状況によっては圏域内の相談員へ引継ぎをしている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		運営規程や利用者負担等に関しては利用契約時に対応している。支援の内容に関しては適時対応している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		少数であるが家庭生活・学校生活についての相談を受け付けて必要な支援をしている。	放課後の2～3時間での対応で取り組み可能なことは少なく、状況によっては圏域内の相談員へ引継ぎをしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4		・保護者会としての組織はしていない。 ・利用児の通学先が複数に渡っている事もあって保護者同志の連携はやや薄い状況。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		法人の苦情解決事業実施要綱や第三者委員での対応が可能である。苦情に至らなくても日常的な意見・要望への対応をしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		月末に翌月分の行事予定を含めた利用希望表で保護者とやり取りしている。また定期的に法人内の広報誌を作成、発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	4		法人の個人情報管理規程、管理規則、マニュアルに準じた対応をしている。	期間中に荷物や配布物を別の家庭と入れ間違える事があり保護者からの指摘を受けて連絡袋の導入を開始している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		視覚支援や集まり時の席順など可能な限り配慮している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		例年法人施設の行事を地域に開放しているが今年度はコロナ感染症対策として一般には呼びかけていない。放課後等デイサービス事業所単体の行事については一般の方を招くスペースがなく困難です。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4		整備済みである。	改定が必要な箇所があれば、修正して各家庭に周知し直す必要がある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		4		平日放課後は十分な時間が確保できず定期開催はできていないが、少ない回数でも経験が積めるように長期休暇中に法人内施設と合同で年1～2回訓練には取り組んでいる。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		マニュアルは整備しており、接遇面も含めて日々の支援では留意している。	研修機会としては法人施設と合同形式になるが、下校時間の関係で必ずしも全員参加が出来ない事があったり、研修資料などでの自己研鑽となっている。送迎対応の少ない曜日に研修を設定してもらおうと出席がしやすくなると思う。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			対象者なし。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		医師の指示書までは出ていないが、甲殻類アレルギーで痒み症状が現れる利用児に対してはおやつの内容について配慮している。	長期休暇中の外注弁当に関しては、日替わり弁当となり個別対応が困難でありおかず類を残食せざるを得ない場面も想定されるので、必要に応じておかず持参の必要性を感じる。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		ヒヤリハットや事故報告書の作成、リスクマネジメント委員会での分析や解決策の決定など組織的に対応できている。日々の遊びや活動の中で類似するような事例があれば教訓にしている。	事故やケガに至らなくても危ない場面があれば、次回の対応時に活かせるように所内で情報共有している。